


エコアクション21

環境活動レポート

2022 年度

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

2023 年 7 月 31 日発行

 ひめゆり総業株式会社



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号 0004463

認証・登録日 2009年12月18日

エコアクション21とは

環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づき、環境への取り組みを適切に実施し、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持するとともに、環境コミュニケーションを行っている事業者を認証し登録する制度です。

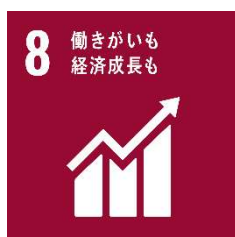
I. SDGs 宣言

ひめゆり総業は

美しい地球を未来につなぐために

SDG s に取り組みます

1. わたしたちは継続的に環境改善活動に取り組みます
2. わたしたちは環境負荷低減に取り組みます
3. わたしたちは地域の皆さまに愛される企業を目指します



II. 環境方針

○ 基本理念

ひめゆり総業株式会社は、当社が行っている廃棄物処理事業が地球環境問題と深い関わりがあることを認識し、事業の管理運営を適正に行うことによって環境への負荷低減を図ります。また、誠実な企業活動を通して地域の方々との共生を図り、持続可能な社会の形成に貢献し、安心できる美しい地球環境を未来へ繋いでいきます。

○ 方針

1. 産業廃棄物の適正処理を通じて環境への負荷低減を図り、環境汚染の予防に努めます。
2. 地域社会の一員として人と自然との共生を図ります。
3. 環境関連法規およびその他の法令ならびに社会的規範を遵守します。
4. 環境への取り組みの定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。
5. 環境教育を通して地球環境保全への意識向上に努めます。

この環境方針を従業員全員に周知し、広く社会に公開します。

2006年4月17日 制定

2021年4月1日 改定

ひめゆり総業株式会社 代表取締役社長 安島 司

Ⅲ. 組織の概要

1. 事業者及び代表者名

- (1) 事業者名 ひめゆり総業株式会社
- (2) 代表者氏名 代表取締役社長 安島 司
- (3) 法人設立年月日 1968年7月15日
- (4) 資本金 3,000万円

2. 所在地

- 本社 福島県いわき市内郷宮町町田 105 番地
- 町田処分場 福島県いわき市内郷宮町町田 105 番 1 外 26 筆
- 平太郎処分場 福島県いわき市内郷宮町町田 101 番 1 外 40 筆

3. 環境管理責任者及び連絡先

- 環境管理責任者 取締役常務執行役員 上遠野 浩樹
- 電話 0246-26-4111 FAX 0246-38-4242

4. 業務内容

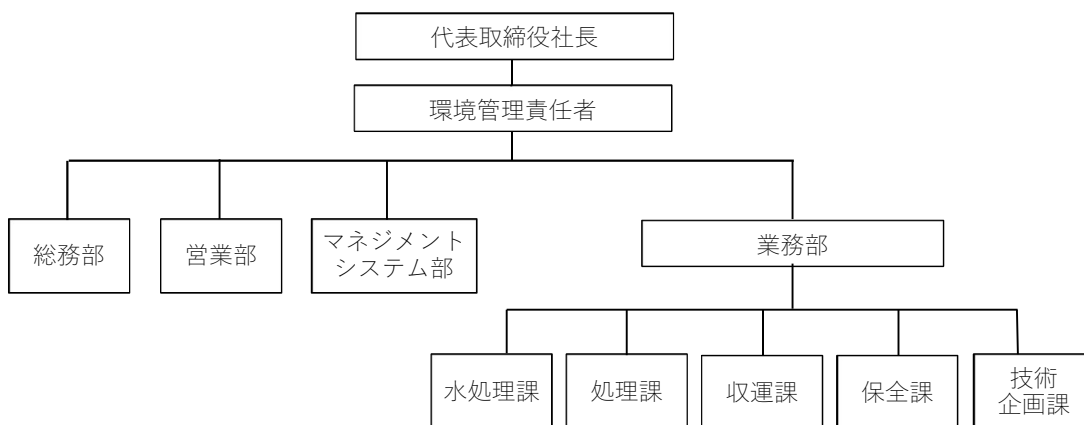
- 産業廃棄物処分業
- 産業廃棄物収集運搬業

5. 事業規模

指標	単位	2022年4月～2023年3月
産業廃棄物処分量	トン	44,196
産業廃棄物収集運搬量	トン	11,064
売上高	百万円	1,373
従業員数（常勤役員を含む）	人	27

※ 従業員数は2023年3月31日現在。

6. エコアクション21運用組織図



○ 役割責任権限表

名称	役割、責任、権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ○経営における課題とチャンスの明確化 ○環境方針の制定 ○エコアクション21の実施体制及び経営資源の準備 ○マネジメントレビューの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○環境目標及び環境活動計画の策定 ○環境安全委員会の開催 ○環境上の緊急事態への対応策の作成及び試行、見直しの実施 ○目標、活動計画、法令順守、環境負荷の状況の評価及び是正
マネジメントシステム部	<ul style="list-style-type: none"> ○エコアクション21活動の推進 ○環境活動、法令順守の状況の確認 ○環境活動レポートの作成、産廃情報ネットの更新 ○中間・更新審査への対応 ○労働安全衛生及び情報セキュリティ対策への取り組み
各部課長	<ul style="list-style-type: none"> ○環境活動計画に基づく活動の実施

IV. 事業の概要

1. 産業廃棄物最終処分

(1) 許可の内容

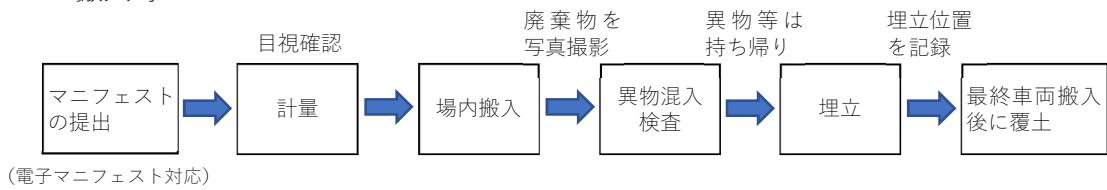
- | | |
|---------------|--|
| i) 許可番号 | いわき市長 第 09430038881 号 |
| ii) 許可年月日 | 2018 年 3 月 29 日 |
| iii) 許可の有効年月日 | 2025 年 3 月 21 日 |
| iv) 事業計画の概要 | 福島県内を主体に近県の産業廃棄物の最終処分を業とする。 |
| v) 事業の区分 | 最終処分（管理型埋立） |
| vi) 廃棄物の種類 | 燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、政令第 2 条第 13 号に掲げるもの以上 14 種類
（これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物（回収義務が生じるものを除く）及び水銀含有ばいじん等（回収義務が生じるものを除く）を含む。） |

(2) 処理施設の概要

- | | |
|------------------|---|
| i) 処理施設の種類 | 管理型最終処分場 |
| ii) 処理する産業廃棄物の種類 | 業の許可を受けたもの |
| iii) 埋立面積 | 町田処分場 75,387 m ²
平太郎処分場 83,039 m ² |
| iv) 埋立容量 | 町田処分場 2,349,681 m ³
平太郎処分場 1,341,198 m ³ |
| v) 残容量 | 町田処分場 0 m ³
平太郎処分場 575,939 m ³ |
| vi) 処理方式 | 準好気性 層状埋立 |

vii) 処理工程図

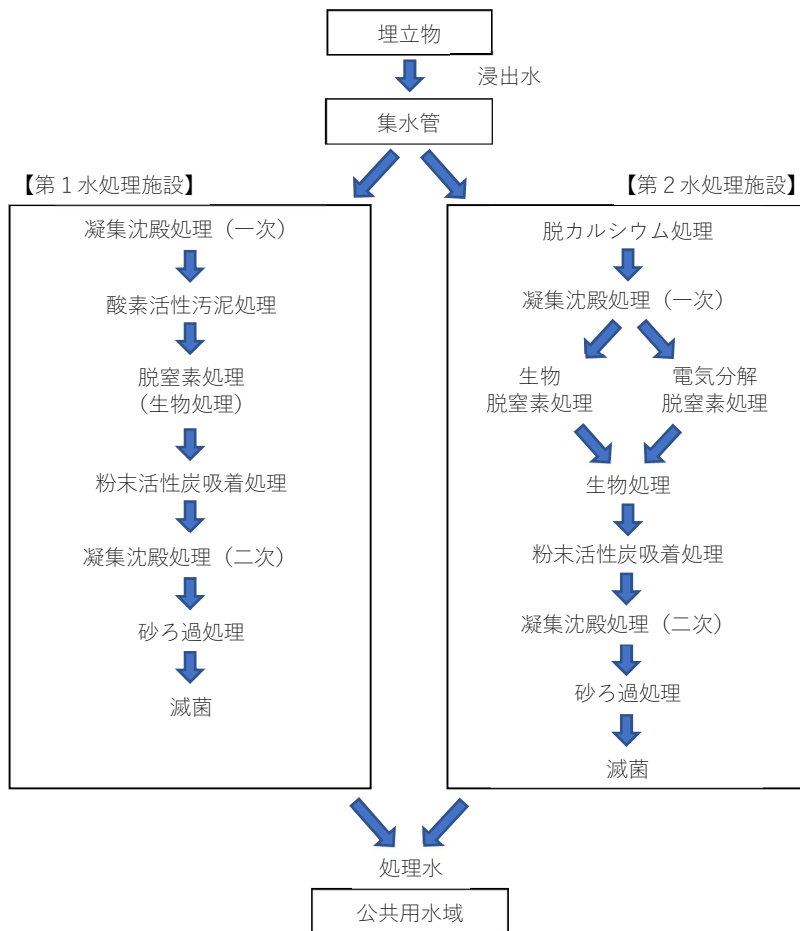
・搬入時



・埋立後管理（埋立地）

残容量測量、構築物の目視確認、地下水の水質測定、ガス測定、等
（一部の記録は産廃情報ネットで確認頂けます）

・埋立後管理（浸出水処理）



2. 産業廃棄物収集運搬

(1) 許可の内容

産業廃棄物

- i) 事業の区分 産業廃棄物収集運搬業（積替保管なし）
 ii) 許可の内容

許可権者 許可番号	許可年月日	取扱産業廃棄物の種類									
	許可の有効年月日	燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	びん・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん
福島県知事 注1 第00709038881号	2022年8月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2027年7月2日		注2					注3			
茨城県知事 第00801038881号	2022年12月5日	○	○	○				○	○	○	○
	2027年8月27日	注4	注5	注6				注6	注4	注7	注4
栃木県知事 第00900038881号	2022年7月22日	○	○	○			○	○	○	○	○
	2027年7月21日	注8	注9	注10			注11	注10	注8	注7	注8
埼玉県知事 第01105038881号	2022年9月20日	○	○	○							○
	2027年8月6日		注7	注7							

注1 これらのうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。

注2 含水率85%以下のものに限る。

注3 (コンクリートくずは) 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。

注4 水銀含有ばいじん等を除く。

注5 自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。

注6 自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む。

注7 石綿含有産業廃棄物を含む。

注8 水銀含有ばいじん等を含む。

注9 石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。

注10 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。

注11 水銀使用製品産業廃棄物を含む。

特別管理産業廃棄物

- i) 許可番号 福島県知事 第00759038881号
 ii) 許可年月日 2023年3月31日
 iii) 許可の有効年月日 2028年3月30日
 iv) 事業の区分 特別管理産業廃棄物収集運搬業（積替保管なし）
 v) 廃棄物の種類 燃え殻(特定有害産業廃棄物で六価クロム化合物及び砒素又はその化合物を含むもの。)

(2) 処理施設の概要（運搬車両の種類と台数）

10トンダンプトラック 3台 2トンダンプトラック 1台
 8トン平ボデー車 1台

3. 処分及び収集運搬実績（2022年4月～2023年3月、単位：トン）

産業廃棄物の種類	最終処分量	収集運搬量
燃え殻	9,968	2,736
汚泥	12,844	4,174
廃プラスチック類	484	0
紙くず	0	0
金属くず	41	13
ガラスくず, コンクリートくず及び陶磁器くず	1,781	369
鋳さい	2,149	702
がれき類	6,764	2,988
ばいじん	10,132	82
13号廃棄物	30	0
災害廃棄物	2	0
合計	44,196	11,064

※ 各数値は小数点以下四捨五入したものを記載

V. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

1. 認証・登録範囲 全社・全事業活動

2. 対象期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで

※ 本レポートの記載内容は、特記ない場合2023年3月31日現在

3. 発行日 2023年7月31日

VI. 環境目標

1. 中期目標（2021年度～2023年度）

項目	基準値 (2020年度実績値)	目標値（目標状態）			
		2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】	793,071	基準値-1.0%	前年実績-0.3%	前年実績-0.3%	
電力由来【kg-CO ₂ 】	473,865	基準値-1.5%	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%	
軽油由来【kg-CO ₂ 】	193,756	2020年度実績を維持			
灯油由来【kg-CO ₂ 】	114,310	基準値-1.5%	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%	
ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	10,550	2020年度実績を維持			
LPG由来【kg-CO ₂ 】	678	2020年度実績を維持			
一般廃棄物排出量削減【kg】	494	2020年度実績を維持			
水使用量削減【m ³ 】	5,744	2020年度実績を維持			
※ 化学 物質 使用 量 削 減	メタノール【kg】	2021 年度 実 績 値 40,436	(基準値)	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%
	硫酸アルミニウム【kg】	40,099	(基準値)	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%
	塩化第二鉄【kg】	36,369	(基準値)	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%
	苛性ソーダ【kg】	70,039	(基準値)	前年実績-0.5%	前年実績-0.5%
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮			エコドライブを励行する。		

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

化学物質使用量削減の目標値について。2020年度実績値を基準として中期目標を策定したが、2020年度は例年よりも使用量が少なかったため、2021年度実績値を基準とすることとした。

2. 単年度目標（2022年度）

項目	基準値 (2020年度実績値)	2021年度 実績値	2022年度 目標値		
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】	793,071	702,816	700,708	2021年度実績値-0.3%	
電力由来【kg-CO ₂ 】	473,865	450,816	448,561	2021年度実績値-0.5%	
軽油由来【kg-CO ₂ 】	193,756	173,314	193,756	基準値を維持	
灯油由来【kg-CO ₂ 】	114,310	67,678	67,340	2021年度実績値-0.5%	
ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	10,550	10,491	10,550	基準値を維持	
LPG由来【kg-CO ₂ 】	678	517	678	基準値を維持	
一般廃棄物排出量削減【kg】	494	411	494	基準値を維持	
水使用量削減【m ³ 】	5,744	5,594	5,744	基準値を維持	
化学 物 質 使 用 量 削 減	メタノール【kg】	2021年度実績値 40,436	40,436	40,234	2021年度実績値-0.5%
	硫酸アルミニウム【kg】	40,099	40,099	39,899	2021年度実績値-0.5%
	塩化第二鉄【kg】	36,369	36,369	36,187	2021年度実績値-0.5%
	苛性ソーダ【kg】	70,039	70,039	69,689	2021年度実績値-0.5%
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮				エコドライブを励行する。	

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

【関連 SDG s】



VII. 環境活動計画

1. 事業活動

(1) 二酸化炭素排出量の削減

負荷発生源		活動内容	具体的な取組	関連 SDGs	
電気	浸出水処理施設	機器類の定期点検	機器台帳を作成し、定期的に点検を実施し記録する。 必要に応じて修理、更新する。	 	
電気	浸出水処理施設	機器毎の環境負荷低減検討	電力負荷の大きい機器の運転状況を定期的に確認、記録する。 必要に応じて修理、更新する。	 	
軽油	収集運搬車両	日常点検、燃料使用量管理	日常の管理を実施徹底する。 車両ごとの燃費をモニタリングする。	 	
軽油	収集運搬車両	エコドライブ	常にエコドライブを心掛ける。 必要に応じて教育する。	 	
軽油	埋立作業用重機	日常点検、燃料使用量管理	日常の管理を実施徹底する。 車両ごとの燃費をモニタリングする。	 	
灯油	浸出水処理施設	ボイラーの日常点検	運転期間中、機器の日常点検を実施徹底する。 水温を確認し、必要程度の加温を維持する。	 	




(2) 水使用量の削減

負荷発生源	活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
浸出水処理施設	第 2 水処理施設の稼働抑制	第 1 施設と第 2 施設で比較的負荷が高い第 2 施設の稼働を抑えるため、両施設の稼働割合の管理を実施する。	  
場内水栓	洗車用水の削減	全社の中で比較的使用量が多い洗車用水について、検討期間を設けて削減策を実行する。	 
場内水栓	節水啓発	節水啓発の表示を設置、維持する。	 

(3) 二酸化炭素排出量の削減




水使用量の削減

化学物質使用量の削減


負荷発生源	活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
浸出水処理施設	浸出水発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地表面にシートを敷設し、処分場に降った雨水を排除する。 ・活動の効果として、「雨水排除量／降雨量」で除去率を算出する。 	  

2. 事業活動以外


(1) 二酸化炭素排出量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
電気使用量削減	室温を適正に設定し記録する。	
	帰社時に電気、エアコンの消し忘れを確認する。	
ガソリン使用量削減	社有車のありかたを見直す。 社有車台帳を整理し、各車両の運用方法、要・不要、入れ替え等を確認、検討し、計画的に実行する。	 


(2) 廃棄物排出量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境負荷の発生量の周知	毎月、ごみ排出量の集計結果を社内掲示し、更新する。	


(3) 水使用量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境負荷の発生量の周知	毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示し、更新する。	

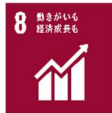
(4) グリーン購入

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
グリーン購入率の維持	調達時、グリーン購入対象品を優先的に選択する。 グリーン購入率を算出して状況を把握する。	


(5) 外部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
処分場の美化	処分場の美化に努める。	
地域交流の場の主催	年2回、監査委員会を開催する。	
地域活動への参加	行政主催の清掃活動へ参加する。	
産廃情報ネットへの情報公開	毎月、その他必要な都度、公開情報を更新する。	


(6) 内部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境安全委員会	月に1回、環境安全委員会を開催する。 (社長、環境管理責任者、各部の代表、労働者代表)	
部長間連絡会	月に2回、部長間連絡会を開催する。 (社長、各部長以上)	
営業会議	月に1回、営業会議を開催する。 (社長、各部長以上、総務課長、技術企画課員)	

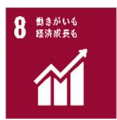
(7) 法令順守

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
法令順守状況確認	月に1回、定期的に更新、確認、報告等が必要な、法令に関わる順守状況を確認する。	


(8) 教育

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境教育	年度初めに、今年度の環境活動計画についての説明会を行う。	
法令順守教育	法令および規則の順守に関する教育を実施する。	


(9) 防災

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
防災訓練	環境上の緊急事態への対応策を試行する。	
緊急連絡網訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	
安否確認訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	
消火訓練	消火器類を実際に操作し、体験する。	
防災備品点検	管理表を基に定期的に防災備品の点検をする。	
消火器、消火設備の点検	定期的に消火器、消火設備の点検をする。	

(10) 情報管理

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
情報セキュリティ教育	情報セキュリティ教育を実施する。	

(11) SDGs

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
SDGs 活動開始	プロジェクトを設置し、SDGs 活動を開始する。	

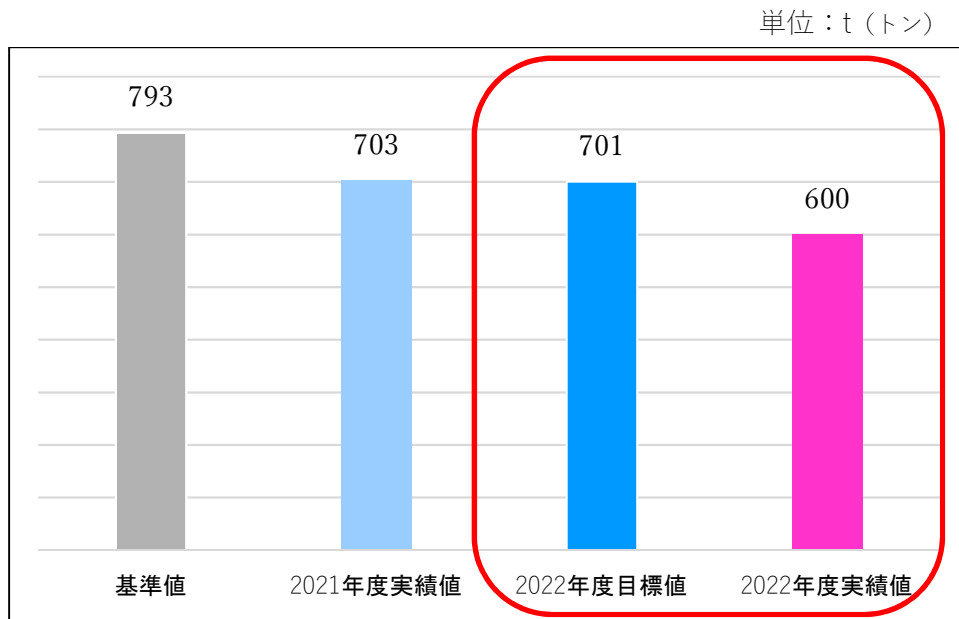
VIII. 環境目標の実績

項目	2021年度 実績値	2022年度		対目標比	
		目標値	実績値		
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】	702,816	700,708	599,998	-14.4%	
電力由来【kg-CO ₂ 】	450,816	448,561	390,189	-13.0%	
軽油由来【kg-CO ₂ 】	173,314	193,756	165,690	-14.5%	
灯油由来【kg-CO ₂ 】	67,678	67,340	34,365	-49.0%	
ガソリン由来【kg-CO ₂ 】	10,491	10,550	9,183	-13.0%	
LPG由来【kg-CO ₂ 】	517	678	571	-15.8%	
一般廃棄物排出量削減【kg】	411	494	382	-22.8%	
水使用量削減【m ³ 】	5,594	5,744	4,216	-26.6%	
化学 物 質 使 用 量 削 減	メタノール【kg】	40,436	40,234	23,860	-40.7%
	硫酸アルミニウム【kg】	40,099	39,899	26,273	-34.2%
	塩化第二鉄【kg】	36,369	36,187	21,824	-39.7%
	苛性ソーダ【kg】	70,039	69,689	44,361	-36.3%
自らが受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における環境配慮		エコドライブを励行する。			

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

1. 二酸化炭素排出量

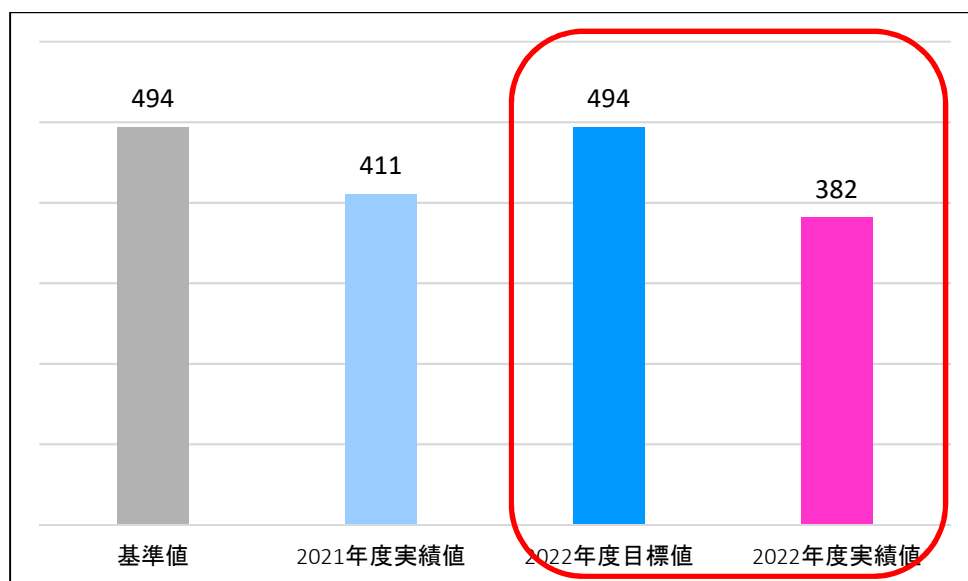


2022年度の二酸化炭素排出量の実績値は600tで、目標値の701tを14.4%下回った。

これは、前年度よりも浸出水処理量が減少し、浸出水処理施設での電気使用量が減少したことが大きな要因となっている。

2. 一般廃棄物排出量

単位：kg

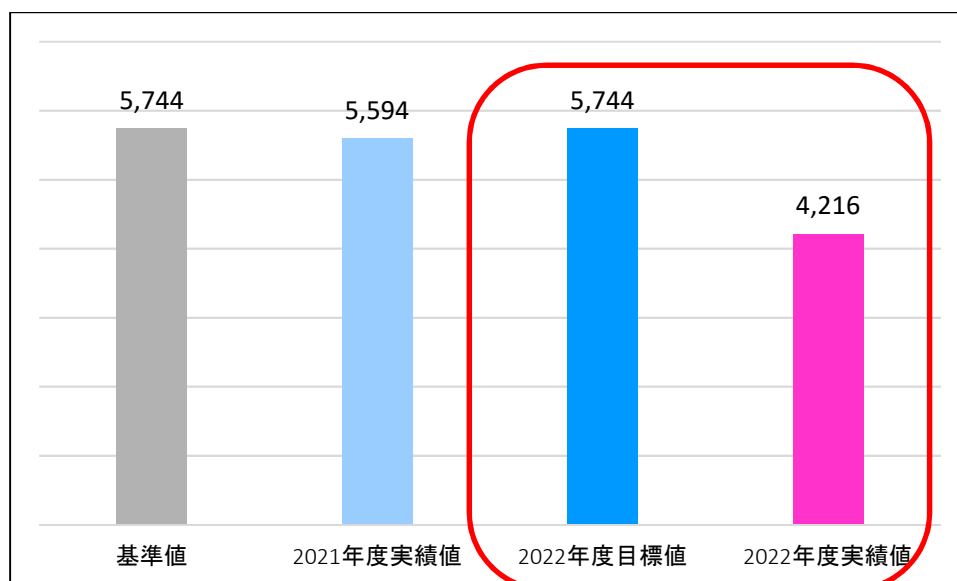


2022年度の一般廃棄物排出量の実績値は382kgで、基準値を維持するとしている目標値の494kgを22.8%下回った。

また、2021年度に引き続き、排出量の減少はコロナ禍による出社制限も一因となっていると捉えている。

3. 水使用量

単位：m³

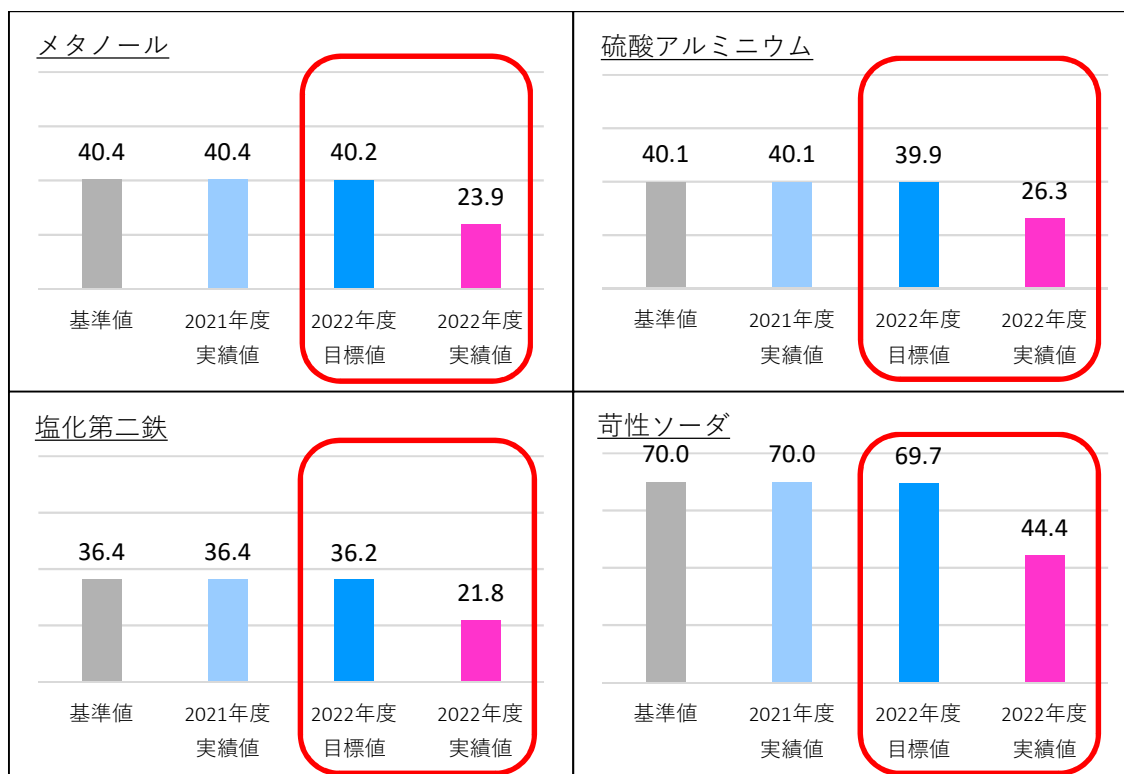


2022年度の水使用量の実績値は4,216 m³で、基準値を維持するとしている目標値の5,744 m³を26.6%下回った。

これは、二酸化炭素排出量の減少と同様に、浸出水処理量の減少が大きく寄与している。

4. 化学物質使用量

単位：t（トン）



2022年度のメタノール使用量の実績値は23.9tで、目標値の40.2tを40.7%下回った。硫酸アルミニウム使用量の実績値は26.3tで、目標値の39.9tを34.2%下回った。塩化第二鉄使用量の実績値は21.8tで、目標値の36.2tを39.7%下回った。苛性ソーダ使用量の実績値は44.4tで、目標値の69.7tを36.3%下回った。

2021年度との比較においても、4品目全てで大きく減少した。これは、二酸化炭素排出量、水使用量と同様、浸出水処理量の減少によるものである。

IX. 環境活動計画の取組結果とその評価

1. 事業活動

(1) 二酸化炭素排出量の削減

○：達成、△：一部達成、×：未実施

負荷発生源		活動内容	評価	
電気	浸出水処理施設	機器類の定期点検	月次での定期検査が実施、記録されていることを確認した。	○
電気	浸出水処理施設	機器毎の環境負荷低減検討	電力高負荷機器の大きい機器の運転状況が定期的に確認、記録されており、安定して稼働していることを確認した。	○
軽油	収集運搬車両	日常点検、燃料使用量管理	日常の点検、記録管理が実施されていることを確認した。	○
軽油	収集運搬車両	エコドライブ	エコドライブについて担当課長から声掛けしていることをヒアリングにより確認した。	○
軽油	埋立作業用重機	日常点検、燃料使用量管理	日常の点検、記録管理が実施されていることを確認した。	○
灯油	浸出水処理施設	ボイラーの日常点検 日常点検	日常の点検、記録管理が実施され、適正な運転がされていることを確認した。	○

(2) 水使用量の削減

負荷発生源		活動内容	評価	
浸出水処理施設		第2水処理施設の稼働抑制	第1施設、第2施設の運転状況が管理、記録されており、両施設が適正に運転されていることを確認した。	○
場内水栓		洗車用水の削減	新たに、節水を啓発する看板を設置した。	○
場内水栓		節水啓発	節水の表示を実施し、それが維持されていることを確認した。	○

- (3) 二酸化炭素排出量の削減
 水使用量の削減
 化学物質使用量の削減

負荷発生源	活動内容	評価	
浸出水処理施設	浸出水発生抑制	雨水排除設備は適正に維持管理されている。 実績値として、雨水の排除率は89%であった。その分浸出水量が減り、浸出水処理施設の稼働抑制につながった。	○

2. 事業活動以外

- (1) 二酸化炭素排出量の削減

活動内容	具体的な取組	評価	
電気使用量削減	室温を適正に設定し記録する。	計画通り実施した。	○
	帰社時に電気、エアコンの消し忘れを確認する。	計画通り実施した。	○
ガソリン使用量削減	社有車のありかたを見直す。 社有車台帳を整理し、各車両の運用方法、要・不要、入れ替え等を確認、検討し、計画的に実行する。	関係者で協議して計画を立て、その計画通りに活動を実施した。	○

- (2) 廃棄物排出量の削減

活動内容	具体的な取組	評価	
環境負荷の発生量の周知	毎月、ごみ排出量の集計結果を社内掲示し、更新する。	計画通り実施した。	○

- (3) 水使用量の削減

活動内容	具体的な取組	評価	
環境負荷の発生量の周知	毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示し、更新する。	計画通り実施した。	○

(4) グリーン購入

活動内容	具体的な取組	評価	
グリーン購入率の維持	調達時、グリーン購入対象品を優先的に選択する。 グリーン購入率を算出して状況を把握する。	グリーン購入が意識されている。 グリーン購入率は96%であった。	○

(5) 外部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	評価	
処分場の美化	処分場の美化に努める。	計画通り実施した。	○
地域交流の場の主催	年2回、監査委員会を開催する。	計画通り実施した。 (詳細をP.26に記載)	○
地域活動への参加	行政主催の清掃活動へ参加する。	計画通り実施した。 【写真1】	○
産廃情報ネットへの情報公開	毎月、その他必要な都度、公開情報を更新する。	計画通り実施した。	○

(6) 内部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	評価	
環境安全委員会	月に1回、環境安全委員会を開催する。 (社長、環境管理責任者、各部の代表、労働者代表)	計画通り実施した。	○
部長間連絡会	月に2回、部長間連絡会を開催する。 (社長、各部長以上)	計画通り実施した。	○
営業会議	月に1回、営業会議を開催する。 (社長、各部長以上、総務課長、技術企画課員)	計画通り実施した。	○

(7) 法令順守

活動内容	具体的な取組	評価	
法令順守状況確認	月に1回、定期的に更新、確認、報告等が必要な、法令に関わる順守状況を確認する。	計画通り実施した。	○

(8) 教育

活動内容	具体的な取組	評価	
環境教育	年度初めに、今年度の環境活動計画についての説明会を行う。	計画通り実施した。	○
法令順守教育	法令および規則の順守に関する教育を実施する。	計画通り実施した。	○

(9) 防災

活動内容	具体的な取組	評価	
防災訓練	環境上の緊急事態への対応策を試行する。	コロナ禍による日程変更はあったが、変更した計画通りに実施した。 【写真2】	○
緊急連絡網訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	計画通り実施した。	○
安否確認訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	計画通り実施した。	○
消火訓練	消火器類を実際に操作し、体験する。	計画通り実施した。	○
防災備品点検	管理表を基に定期的に防災備品の点検をする。	計画通り実施した。	○
消火器、消火設備の点検	定期的に消火器、消火設備の点検をする。	計画通り実施した。 今年度予定していた消火器の更新を実施した。	○

(10) 情報管理

活動内容	具体的な取組	評価	
情報セキュリティ教育	情報セキュリティ教育を実施する。	計画通り実施した。	○

(1 1) SDGs

活動内容	具体的な取組	評価	
SDGs 活動開始	プロジェクトを設置し、SDGs 活動を開始する。	プロジェクトメンバーを中心に準備を進め、独立したプロジェクトとして全社的な活動を開始した。【写真3】	○



【写真1 地域清掃活動の様子】



【写真2 防災訓練の様子】



【写真3 SDGs プロジェクトメンバーによる会議の様子】

ひめゆり監査委員会

当社は、近隣住民代表の方々に処分場の維持管理状況を監査して頂く「ひめゆり監査委員会」を、2000年3月から年2回開催している。毎年度、春と秋に開催しており、監査内容は廃棄物搬入量や埋立状況、埋立地及び浸出水処理施設の維持管理状況等である。

2022年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮し、春季は4月23日（土）に、秋季は10月29日（土）に開催した。



太陽光発電

当社は、社有地を有効活用するため町田処分場内に出力 200kW の太陽光発電設備「ひめゆり総業発電所」を設置し、発電量全量を売電している。

2022 年度の発電量は 284,600kWh で、当年度の電気使用量の 38.2%に相当する。また、二酸化炭素排出削減の効果を試算すると、148,300kg-CO₂となり、当年度の全社での二酸化炭素排出量の 24.7%に相当する量の二酸化炭素排出削減に貢献した。

※二酸化炭素量への換算には、2017 年度東北電力基礎排出係数:0.521kg-CO₂/kWh を使用。



セーフティチャレンジ運動

当社は、福島県交通安全協会等が主催する無事故無違反に向けた「セーフティチャレンジ運動」に協賛・参加している。社員 3 人 1 組のグループを作り、7 月からの半年間、グループ単位で取り組んでいる。

X. 次年度の環境目標

2023年度は中期目標の最終年となる。引き続き環境活動を計画的に実施、推進するとともに、次期中期目標の策定に向けた準備をする。

項目		基準値 (2020年度実績値)	2022年度 実績値	2023年度 目標値		
二酸化炭素排出量削減【kg-CO ₂ 】		793,071	599,998	598,198	2022年度実績値-0.3%	
電力由来【kg-CO ₂ 】		473,865	390,189	388,238	2022年度実績値-0.5%	
軽油由来【kg-CO ₂ 】		193,756	165,690	193,756	基準値を維持	
灯油由来【kg-CO ₂ 】		114,310	34,365	34,193	2022年度実績値-0.5%	
ガソリン由来【kg-CO ₂ 】		10,550	9,183	10,550	基準値を維持	
LPG由来【kg-CO ₂ 】		678	571	678	基準値を維持	
一般廃棄物排出量削減【kg】		494	382	494	基準値を維持	
水使用量削減【m ³ 】		5,744	4,216	5,744	基準値を維持	
化学物質使用量削減	メタノール【kg】	2021年度実績値	40,436	23,860	23,741	2022年度実績値-0.5%
	硫酸アルミニウム【kg】		40,099	26,273	26,142	2022年度実績値-0.5%
	塩化第二鉄【kg】		36,369	21,824	21,715	2022年度実績値-0.5%
	苛性ソーダ【kg】		70,039	44,361	44,139	2022年度実績値-0.5%
自らが受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮					水処理施設における電気使用設備の保全	

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.523kg-CO₂/kWh（東北電力、2017年調整後）

※産業廃棄物（自社分）は自社処分場にて埋立処理

【関連SDGs】







XI. 次年度の環境活動計画

1. 事業活動

(1) 二酸化炭素排出量の削減

負荷発生源		活動内容	具体的な取組	関連 SDGs	
電気	浸出水処理施設	機器類の定期点検	定期的な点検、記録管理を実施し、必要に応じて修理、更新する。	 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
軽油	収集運搬車両	日常点検、燃料使用量管理	日常の管理を実施徹底する。 車両ごとの燃費をモニタリングする。	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 11 住み続けられるまちづくりを
軽油	収集運搬車両	エコドライブ	常にエコドライブを心掛ける。 必要に応じて教育する。	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 11 住み続けられるまちづくりを
軽油	埋立作業用重機	日常点検、燃料使用量管理	日常の管理を実施徹底する。 車両ごとの燃費をモニタリングする。	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 11 住み続けられるまちづくりを
灯油	浸出水処理施設	ボイラーの日常点検	運転期間中、機器の日常点検を実施徹底する。 水温を確認し、必要程度の加温を維持する。	 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに




(2) 水使用量の削減

負荷発生源	活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
場内水栓	洗車用水の削減	昨年度設置した節水看板の維持管理状況を確認する。 洗車水の使用量をモニタリングする。	 
場内水栓	節水啓発	節水啓発の表示を設置、維持する。	 

(3) 二酸化炭素排出量の削減


水使用量の削減

化学物質使用量の削減


負荷発生源	活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
浸出水処理施設	浸出水発生抑制	埋立地表面にシートを敷設し、処分場に降った雨水を排除する。 活動の効果として、「雨水排除量／降雨量」で除去率を算出する。	  

2. 事業活動以外


(1) 二酸化炭素排出量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
電気使用量削減	室温を適正に設定し記録する。	
	帰社時に電気、エアコンの消し忘れを確認する。	


(2) 廃棄物排出量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境負荷の発生量の周知	毎月、ごみ排出量の集計結果を社内掲示し、更新する。	


(3) 水使用量の削減

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境負荷の発生量の周知	毎月、部門ごとの水使用量の集計結果を社内掲示し、更新する。	


(4) グリーン購入

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
グリーン購入率の維持	調達時、グリーン購入対象品を優先的に選択する。 グリーン購入率を算出して状況を把握する。	



(5) 外部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
処分場の美化	処分場の美化に努める。	
地域交流の場の主催	年2回、監査委員会を開催する。	
地域活動への参加	行政主催の清掃活動へ参加する。	
産廃情報ネットへの情報公開	毎月、その他必要な都度、公開情報を更新する。	


(6) 内部コミュニケーション

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境安全委員会	月に1回、環境安全委員会を開催する。 (社長、環境管理責任者、各部の代表、労働者代表)	
部長間連絡会	月に2回、部長間連絡会を開催する。 (社長、各部長以上)	
営業会議	月に1回、営業会議を開催する。 (社長、各部長以上、総務課長、技術企画課員)	
原価報告会	月に1回、原価報告会を開催する。 (社長、各部長以上、総務課長、技術企画課員)	

(7) 法令順守

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
法令順守状況確認	月に1回、定期的に更新、確認、報告等が必要な、法令に関わる順守状況を確認する。	 

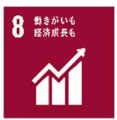
(8) 教育

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
環境教育	年度初めに、今年度の環境活動計画についての説明会を行う。	
法令順守教育	法令および規則の順守に関する教育を実施する。	


(9) 防災

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
防災訓練	環境上の緊急事態への対応策を試行する。	
緊急連絡網訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	
安否確認訓練	夜間あるいは休日に連絡の訓練を実施する。	
消火訓練等	消火器類を実際に操作し、体験する。	
応急救命講習	管理表を基に定期的に防災備品の点検をする。	
防災規程の教育	制定、施行している規程類の教育として読み合わせを実施する。	
防災備品点検	管理表を基に定期的に防災備品の点検をする。	
消火器、消防設備の点検	定期的に消火器、消火設備の点検をする。	
法定の資格取得、講習受講	有資格者教育を実施する。	
保安防災に関する外部セミナー、講習受講	いわき市及び近郊で開催される講習に参加する。	
全国火災予防運動（春季、秋季）、危険物安全週間	定期的に消火器、消火設備の点検をする。	

(10) 情報管理

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
情報セキュリティ教育	情報セキュリティ教育を実施する。	

(11) SDGs

活動内容	具体的な取組	関連 SDGs
SDGs 活動	プロジェクトとして独立した活動を実施する。	

XII. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無



1. 遵守状況

適用法令	主な遵守事項	評価
廃棄物処理法	業・施設の許可、委託基準、収集運搬基準、施設の技術基準、埋立基準、維持管理基準 等	履行
ダイオキシン類特措法	地下水、放流水のモニタリング 等	履行
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の設置届出 等	履行
騒音規制法	特定施設の設置届出 等	履行
浄化槽法	保守点検、清掃 等	履行
化管法	第一種指定化学物質の排出量の把握 等	履行
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検、フロン類引渡し 等	履行
消防法	危険物施設の設置許可、点検、講習受講 等	履行
毒劇法	保管場所の表示、紛失防止 等	履行
県生活環境保全条例	排水指定施設の設置届出 等	履行

2. 違反・訴訟等

- 環境関連法規への違反がないことを確認した。
- 規制当局からの違反等の指摘、及び環境に関連する訴訟その他の紛争は無いことを確認した。

XIII 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 評価

当社のエコアクション 21 における活動は、自らの管理指標を基にした実行の確認により、全体的に上手く機能していると認められる。

来年度も引き続き、活動の実施者が主体的に取り組めるよう、PDCA を意識した活動を実行すること。

2. 見直し、指示

特に無し。

以上